

子ども学の源流を次世代につなぐ

幼児の教育

[特集] 問い直そう、保育の中のあたりまえのこと
幼児期の「仲良し」ってどんなこと?

[シリーズ] 子どもが育つ場所を訪ねて
東広島市 広島大学附属幼稚園

[実践研究] 保育事例をめぐる対話
チョークでアート

冬 2011
2012

since 1901

子どものまなざしの向こうに

目に見えて写っているものの向こうに、
見る者の心に映るもうひとつの子どもの世界が
聞こえてこないでしょか。



「わたし、こんなに大きくなつた！」

表紙の図柄は、お茶の水女子大学附属幼稚園内にある
ステンドグラスの模様をデザイン化したものです。

目 次

写真

子どものまなざしの向こうに

1

目次 プロローグ

保育環境の底冷え

浜口順子

2

特集

問い合わせ、保育の中のあたりまえのこと 4

幼児期の「仲良し」ってどんなこと?

座談会

岩田純一・伊集院理子・菊地知子

4

小さな子の中にいて“仲良し”を考える

中澤智子

13

家族での子どもをめぐる関係を考える

加藤美帆

17

「仲良し」に歴史あり

柴坂寿子

21

シリーズ

子どもが育つ場所を訪ねて

広島大学附属幼稚園

高橋陽子

24

実践研究

保育事例をめぐる対話

チョークでアート

吉岡晶子

30

幼稚園でアートが生まれる時

刑部育子

35

チョークによる探索活動 一呼びかけること、応えること一

郡司明子

39

象風景を映し出すスク
リーンとなつて、人の
日常的なものの見え方
のトーンに生涯にわた
り影響を与えるものか
もしれないと思った。
熊谷氏が原風景形成の
契機として挙げる「温
かさ」と「自由」とは、
保育所や幼稚園が、そ
れぞれ長年の歴史の中
で子どものためにと模
索しながら用意してき
た貴重な環境の特質で
ある。一朝一夕に出来
たものではない。現在
進行中の保育制度改革
の動きは、子どもの原
風景を「不安感」や「孤
独感」という今ひとつ
の契機で染める危うさ
がある。乳児たちの這
いまわる床板に冬の底
冷えが来てはいないだ
らうか。

連載1 再読・倉橋惣三（最終回）

倉橋惣三の「子どもの生活」理解を探る

—学校へ来る子どもの気持ち、先生の心掛け—

児玉衣子

43

連載2 保育随想（最終回）

園のくらしを育む 16

—豊かな園のくらしに向けて—

秋田喜代美

48

連載3 自然の目（最終回）

ツブキ先生の虫のつぶやき 植物編

—冬の花 ヤツデの「よい子」を作る戦略—

津吹 卓

52

論考

風景を失うことの意味 —陸前高田と原風景をめぐって—

熊谷圭知

54

論考

保育者の「養護性」はどのように形成されたのか

—沖縄県在住の元保育者の語りから—

松本なるみ・岩崎美智子

59

報告

保育者のまなざしの奥にあるもの

—フィンランド クーリッカ市の実践（2）—

佐治由美子

64

目録

『幼児の教育』平成23年総目録

69

情報・読者のページ

ひろば

71

エピローグ 奥付

WEBページ・次号予告ほか

72

プロlogue**保育環境の底冷え**
浜口順子

東日本大震災を受けた東北に寒い冬がまた訪れた。被災地の復興策も現在進められている保育制度の改革も、その中心にいるはずの当事者の状況を本当に見て進められているのだろうか。「見る」と観察は違つ。観察は多くの場合、用意されていた答えの確認になる。観察では、現場に漂う雰囲気の匂いを嗅ぎ取つたり、出会った人の言葉や態度にたじろいだり驚いたり興味を抱いたりする身体性が閉ざされやすい。熊谷氏が書かれた、「原風景」について。幼少期に見たよくなり出す原風景は、心

エピローグ

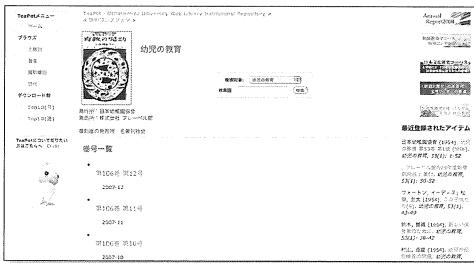
2011年4月、月刊誌から季刊誌に切り替わり、この冬号でちょうど一巡です。子どもが育つ場所を訪ねて子どもたちや実践者と出会うこと、保育実践について対話すること、保育の中の当たり前を問い合わせることを新企画の3本柱として、『出会い』『問い合わせ』『対話』そして『つながり』を大切にしてきました。

度重なる災害の爪痕は今も各地に残り、復興に向けて懸命な取り組みが続いています。助け合いの輪は世界中に広がり、私たちは一人ではないということ、まさに『つながり』を実感したように思います。本誌も皆様の心につながりや広がり、そして元気をお届けできたらとても幸せです。この冬号で第111巻の巡りに入ります。冬が新しい始まりになります。
(M/H)



『幼児の教育』バックナンバーをWEBページで公開中。

<http://teapot.lib.ocha.ac.jp/ocha/handle/10083/3705/bulletin/>



明治34年発行の創刊号から、現在、平成20年発行の第107巻までご覧になれます。

なお、自由投稿、「ひろば」への情報などもお待ちしております。

nyuyoji-info@cc.ocha.ac.jpまで。

次号予告 | 幼児の教育 春号 2012年3月刊行予定

新企画も登場！ 充実した内容でお届けします。

実践研究 私の保育ノートから

子ども学探訪 倉橋惣三とキンダーブック

保育エッセイ 続・心が育つということ

からだ考 食べること育つこと～自然と・社会と・交わる「食」～

アーカイブズ 『幼児の教育』110年の散歩

※タイトル・内容が変更になる場合もあります。

幼児の教育 冬号 第111巻 第1号

平成24年1月1日発行

編集発行人／浜口順子

編集担当／田中恭子

発行所／日本幼稚園協会

〒112-8610

東京都文京区大塚2-1-1

お茶の水女子大学附属幼稚園内

発売所／株式会社フレーベル館
電話：03-5395-6657(編集)

振替／00190-2-19640

印刷所／図書印刷株式会社

定価／750円(本体715円)

©日本幼稚園協会 2012 Printed in Japan

編集協力／フレーベル館

編集スタッフ／伊集院理子

菊地知子

佐治由美子

宮里暁美

吉岡晶子

● ご購入のお問い合わせは、フレーベル館までお願いします。03-5395-6613(営業) ●

好評発売中

保育が変わる！

照沼晃子、平田智久／著

0歳からの造形遊びQ&A

造形遊びの「困った！」 に答えます！

造形遊びの“困った！”に答える実践本。子どもの見方のヒントや素材の常識、保護者への伝え方を紹介します。

26×21 cm 80ページ 定価 1,890円（税込）

子どもの見方・
保育の視点がわかる！

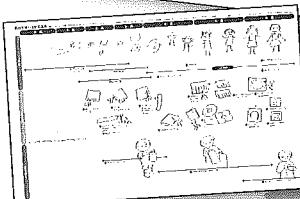
環境設定の具体的な
アイデアや言葉かけの
ポイントなど、実際に
役立つ内容です。



10926

素材の選び方や
楽しみ方がわかる！

「乳幼児期の技能発達表」
付き。造形遊びにおける
子どもの育ちが
わかります。



キッダーブックの
フレーベル館

保育の学校

無藤 隆／著

21×15cm 136ページ 定価各1,365円(税込)

平易な言葉でわかりやすく。
保育をふりかえり、考え、
深めていくための16講義。

保
育
学
校

保いくのがっこう

保育の基本と遊び 編

10931
無藤 隆

保
育
学
校

保いくのがっこう

5領域 編

10932
無藤 隆

保
育
学
校

保いくのがっこう

5つの今日的課題 編

10933
無藤 隆

予習

この章では、保育の基本と遊びについて学びます。保育の基本とは、保育の目的や方法などを理解するための知識です。遊びとは、子供たちが楽しく遊ぶことで、成長や発達を促進する活動です。この章では、保育の基本と遊びについて、実践的な知識を学びます。

講義

この章では、5つの領域について学びます。5つの領域とは、「健康」「環境」「人間関係」「言葉」「表現」の5つです。これらの領域は、子供たちの成長や発達に密接に関連しています。この章では、各領域について、実践的な知識を学びます。

まとめ

この章では、これまで学んだ内容を総合的にまとめます。また、今後学ぶべき内容についても予習します。この章では、これまで学んだ内容を総合的にまとめます。

小検定

この章では、これまで学んだ内容を確認するための小検定を行います。この章では、これまで学んだ内容を確認するための小検定を行います。

う言葉が入っているわけです。

◆図1 教育と福祉の関係



子どもの最善の利益

ところで、子どもの最善の利益という表現についてですが、この、最

▲図解で
わかりやすく!

2)「子どもの最善の利益」を英語ではどう表記するでしょう。選びなさい。

1. good interest 2. better interest 3. best interest

3) a, bに入る言葉を選択肢から選びなさい。

保育所は、(a) でなければならない、という表現をしています。教育を勉強する、この、(b) という言葉がややこしい言葉であるということを学ばざるをえないのですけれど、例えば、教育要領においては、幼稚園は教育の場なのですね。教育要領中に、(b) という言葉はあるにあるのですが、(a) という表現はないと思いま

◀ポイントを
再確認!

キンダーパックの
フレーベル館

好評発売中

くらしの素顔

保育の場の子どもたち

秋田喜代美

保育の場の子どもたち

くらしの
素顔



10931

ポイント1

秋田喜代美先生の待望の最新刊！

著者が園の生活に立会い、保育の本質を探った第一部には、日々の保育のヒントとなるエッセンスが満載です。

ポイント2

園の生活を描いた絵本の読み解きが面白い！

書き下ろしの第二部では、定番～新作まで12冊の絵本を研究者の視点で読み解きます。普段読み聞かせている絵本の奥深さに触れて、保育の幅がぐ～んと広がります！

保育実践の現場から著者が感じ考えた園のくらしについての13の思索と、園生活を描いた12冊の絵本の解説より、目の前の子どもの素顔から、園のくらしのあり方、保育の本質を問い合わせることができます。

- 著者／秋田喜代美
- 価格／1,365円(税込)
- サイズ／21×15cm
- ページ数／152ページ

「幼児の教育」
園のくらしを育む

連載第1回～13回までを収録！

連載中

「タイムカプセル」
子ども時代の記憶



キンダーブックのフレーベル館

くわしくはフレーベル館代理店・特約店・支社・支店・営業所または本社営業総括部(03)5395-6608にお問い合わせください。